



議会だより はとやま

表題をリニューアルしました♪

Hatoyama



幼稚園の給食
うれしいな♪

(取材記事はP14)

埼玉県鳩山町議会発行

No. 161

2023.8.1発行

6月定例会報告

12人の新体制がスタートしました	2~3
2・3学期無償化へ小・中学校給食費	4~5
私たちは賛成・反対しました	6
町政を問う！一般質問10議員が質問	7~12
特集 そこが知りたいぎがいレポート	13
いま、それ、気になるHATOYAMA vol.1 「町立鳩山幼稚園で給食が始まりました」	
議会クイズ・編集後記	14

スタートしました

第19期 鳩山町議会議員



議会議員改選後の臨時会が5月10日に行われました。正副議長選挙が実施され、議会運営委員会委員、常任委員会委員が選任されました。一部事務組合議会議員も決まり、議会の新体制が整いました。なお、任期は令和9年4月30日までです。

議長 石井 徹
副議長 大賀 広史



この度、鳩山町議会議長に選任され、身に余る光栄であると同時に、責任の重さを痛感いたしております。

一元代表制の一翼を担う議会として、行政への監視機能はもちろん、公正・公平な議会運営に努め、町民の皆様の負託に心えるため、町政の充実と発展、住民福祉の向上に向け、誠心誠意努力する所存です。

コロナでの法的制限が解除され、先ずは町民の皆様との交流機会を増やすことを目指してまいります。ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

2度目の副議長に選出させていただきました。新体制のもと、ポストコロナの議会運営に注力するとともに、チーム鳩山町議会として町民の皆さまに議会の活動と町政の情報を幅広く発信してまいります。また、議会改革として、

①議員政策研究会の発足
②まちづくりカフェ（町民との意見交換会）の開催

③政務活動費の研究
以上、3点を議会に提案しました。このような取り組みを進めて参ります。議長をサポートしながら、職責を果たしてまいります。

常任委員会

〈総務産業委員会〉

◎ 委員長
○ 副委員長



総務課、政策財政課、税務会計課、産業環境課、まちづくり推進課、上下水道課、農業委員会その他の所管事項

(前列右より)

○ 森 利夫

◎ 関根 清隆

大賀 広史

(後列右より)

日坂 和久

石井 計次

根岸富一郎

〈福祉文教委員会〉

◎ 委員長
○ 副委員長



町民健康課、長寿福祉課、教育委員会の所管事項

(前列右より)

◎ 中山 明美

○ 野田小百合

(後列右より)

小鷹 房義

松浪健一郎

清水 秀幸

12人の新体制が



このような委員会・会議があります！

常任委員会

地方自治法109条や鳩山町議会委員会条例に基づき設置されています。
「総務産業」「福祉文教」の2委員会があり、議員は必ずどちらかの常任委員会に所属します。
それぞれの所管する事務事業の調査を行い、請願等を審査します。

議会運営委員会

常任委員会の各委員長、他3人の5人で構成されています。正副議長も出席します。
議会の会期、議事日程、議事進行、その他議会運営に必要なことを協議します。

議員全員協議会

議長が招集して開かれる会議です。会期中や議会開催の1週間前などに開催しています。また、毎月定期全員協議会も開催しています。
・本会議の審議過程で、議長が休憩を取り、議員相互や執行部等の意見調整を図るために話し合います。
・議会の活動や運営について協議します。
・町長が行政上の問題について、議会に対して説明したり、意見を聞いたりします。

議会だより編集委員会

議長を除く議員が、1年交代で担当します。原稿分担・レイアウト・校正作業など約4回の会議を経て、『議会だより』ができあがっています。議会で決定したことなどをお伝えしています。

一部事務組合議会議員

- 坂戸地区衛生組合
し尿の収集、運搬、処理
松浪健一郎
- 埼玉西部環境保全組合
ごみの収集、運搬、処理
石井 計次
- 西入間広域消防組合
消防及び火薬取締り
日坂 和久(副議長)
- 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合
公共下水道の設置、改築、修繕、維持、その他管理
根岸富一郎
- 坂戸地区衛生組合
共下水道組合
石井 徹
- 西入間広域消防組合
大賀 広史
- 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合
森 利夫(監査)
- 西入間広域消防組合
小鷹 房義(監査)
- 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合
石井 計次
- 西入間広域消防組合
日坂 和久(副議長)
- 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合
根岸 清隆
- 西入間広域消防組合
清水 秀幸
- 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合
中山 明美
- 西入間広域消防組合
関根 清隆
- 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合
石井 計次

議会運営委員会



◎委員長
○副委員長

- (前列右より)
- 日坂 和久
- ◎石井 計次
- (後列右より)
- 関根 清隆
- 根岸 富一郎
- 中山 明美

2・3学期無償化へ 小・中学校給食費



今宿小学校 配膳の様子

第2回定例会

令和5年第2回定例会が、6月6日から6月14日までの9日間開催されました。
提出された議案は、専決処分の承認に関するもの1件、条例の制定に関するもの3件、令和5年度一般会計及び特別会計等の補正予算の議定に関するもの3件、令和4年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告1件の合計8案件です。
また、議員発議の意見書が1件可決され、国へ送付いたしました。

臨時会報告

令和5年5月10日開催

一般会計補正予算 (第1号)

予防接種法に基づく新型コロナウイルスワクチン接種の特例臨時接種期間を1年延長するとともに、65歳以上の方や、基礎疾患を有する方については、5月8日から接種を開始するために専決処分の承認を求める。

問 対象者の何割が接種されると見込まれるか。
答 約6割の予約率。担当課として、7割と考えている。
問 秋には健常者の接種

定例会報告

があるのか。
答 5歳以上が対象。

一般会計補正予算 (第3号)

問 住民税非課税世帯に1世帯3万円の支給。1400世帯対象だが、全体に占める割合は。
答 全世帯6071世帯の約23パーセントにあたる。
問 まちづくり応援基金繰入金は、小中学校給食費の2、3学期分で、無償なのか。
答 その通り。

問 家計急変世帯給付金とは具体的に説明を。
答 補正第2号で、令和

4年度の収入等によって、住民税非課税世帯に1世帯3万円支給した。今回は令和5年1月から9月末までに、家計が急変し、住民税非課税世帯と同様の状態となった世帯を支援する給付金だ。7月から支給を開始したい。

《反対討論》

個人番号カード受付事務費補助金と雑入のマイナンバーカード健康保険証利用申込支援事業補助金を受け入れ、予算に計上している。
(根岸)

《賛成討論》

今回の補正予算案は、国の価格高騰重点支援地方交付金を活用し、町独

意見書が可決 (賛成6 : 反対5) 改正マイナンバー法を見直し、 健康保険証の継続を求める意見書

改正マイナンバー法が6月2日に成立し、2024年秋には健康保険証を廃止して「マイナ保険証」に一本化している。オンライン資格確認システム導入の義務化、現行の健康保険証の廃止は、取得が任意であるはずのマイナンバーカードを事実上義務化させることになり、選択の自由と国民皆保険制度を壊しかねない。

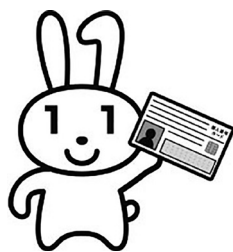
国民皆保険制度は、「いつでも」、「どこでも」、「誰でも」、日本国内で等しく医療が受けられるものである。健康保険証を廃止し、マイナ保険証を取得しない国民は、「資格確認書」を申請しなければ、公的医療が受けられなくなる。

マイナンバーをめぐるトラブルが多発し、未だに全貌が明らかになっていない。さらに、最新のJNNの世論調査では、マイナンバーの活用に不安を感じている人が70%を超えており、拙速にことを運ぶのではなく、まずは立ち止まって、制度について見直すべきである。

障がいのある方、寝たきりの方や認知症の方など、いわゆる弱い立場の方々にとっては、マイナンバーカードの取得や更新手続き等が非常に困難である。

現行の健康保険証は原則交付とし、マイナンバーカードを保険証として使うかどうかは個々の国民の任意とするべきである。

よって、国会及び政府においては、改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の継続を強く求める。



自の支援を行うものであり、子育て支援策に重点を置いた事業を計上している。
2学期から小中学校給食費が無償になること、9月から来年3月まで学童保育料を無償にするなど、町が本気で少子化対策に取り組んでいる姿勢を評価したい。(大賀)



無償化でもおいしい給食を

《意見書 反対討論》

マイナンバーをめぐるトラブルが続発していることは大きな懸念であり、政府には慎重に対策を講じて、国民の信頼回復に努めていただきたいと考える。

一方でマイナンバー制度そのものを否定している人たちとメディアが不

安を煽っているが、マイナンバーの活用は住民の利便性向上につながるものであり、マイナ保険証におけるメリットは医療費抑制や重複受診の軽減化など、医療のDX推進につながる。副次的なことを声高に主張し、先に進むことを拒んでいるはこれからの地域共生社会に向けて進んでは行けな

い。従来の健康保険証を堅持する、その意図は、DX推進に逆行するものである。(大賀)

反対理由は次の4点

①現行健康保険証を残せば、事務の合理化・迅速化・正確性を阻害し、デジタル化が抑制される。また、現行のセキュリティ問題が解決できない。

②マイナカード健康保険証の処理で、多くの不具合が発生しているのも事実だが、システム作りにはこのような問題はつきものであり、解決に邁進すべきである。

③国会で十分に糾弾されているので、意見書提出の必要はない。

④IT弱者への課題は、成年後見人制度、地域共生社会として地方自治体でも取り組むべき課題である。(関根)

今回の定例会では、町行政の様々な部所でのDXを進めてほしい旨の質

問・意見がたくさんあった。

マイナ保険証への一本化は、国が推進しているDXの一つである。

これに反対することは、自分たちが要望している意見と相反する言論だ。

町にDXを強く要望しておきながら、国のDXに反対することは、私としてはできない。(森)

《意見書 賛成討論》

資格確認書は、現行保険証と同様、氏名、生年月日などを忘れたり、病気などで手続きできなかったりすれば、保険診療を受けられなくなる恐れがある。

マイナンバーの用途は現在、社会保障、税、災害対策の3分野に限定されている。

政府は、国民の声を聞かずに政府が恣意(しい)的に用途を拡大する危険がある。地方交付税の配分を差別する。(根岸)

監査委員に

日坂和久 議員

議会選出の監査委員に、日坂和久議員を選任することについて同意しました。



一部事務組合議会報告

町の事業を他の市町と共同して行っています。

埼玉西部環境保全組合

埼玉西部クリーンセンターで、5月28日新メンバーでの臨時会が開催されました。

議長には鶴ヶ島市の高橋剣二議員、副議長には毛呂山町の堀江快治議員が選出されました。監査委員に鳩山町の小鷹房義議員を選任することに同意されました。また、鶴ヶ島市条例を準用する条例の一部改正、埼玉西部環境保全組合議会の個人情報保護に関する条例について全会一致で可決されました。

広域静苑組合

5月29日、第1回臨時会が行われました。

統一地方選挙後の最初の議会となるため、選任議員での初顔合わせとなり、鳩山町においては、議員数が三人から二人に削減となりました。本会議では副管理者に毛呂山町の井上健次町長が再任し、副議長に鶴ヶ島市の出雲敏太郎議員が、監査委員に毛呂山町の高橋達夫議員が選任されました。



「私たちは賛成・反対しました」

○は賛成 ●は反対 除は除斥 議は議長

令和5年第2回定例会 議案		議 員 氏 名										審議結果	
		清水 秀幸	関根 清隆	中山 明美	日坂 和久	小鷹 房義	森 利夫	松浪 健一郎	野田 小百合	石井 計次	根岸 富一郎		大賀 広史
町長提出	専決処分の承認（令和5年度一般会計補正予算（第2号）） 住民税非課税世帯への給付金の給付	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
	税条例の一部を改正する条例 地方税法等の一部改正に伴い改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	印鑑条例の一部を改正する条例 電子署名等に関わる地方公共団体情報システム機構の認証	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例 鳩山町特定教育・保育施設の運営に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	令和5年度一般会計補正予算（第3号） 歳入歳出予算の総額にそれぞれ5,043万9千円を追加	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
	令和5年度水道事業会計補正予算（第1号） 人事異動に伴う給料、手当及び法定福利費、会計年度任用職員の報酬	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	令和5年度下水道事業会計補正予算（第1号） 職員給与費の法定福利費の補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
議員提出	改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の継続を求める意見書案	○	●	●	○	○	●	●	○	○	○	議	原案可決

令和5年第1回臨時会 議案		議 員 氏 名										審議結果	
		清水 秀幸	関根 清隆	中山 明美	日坂 和久	小鷹 房義	森 利夫	松浪 健一郎	野田 小百合	石井 計次	根岸 富一郎		大賀 広史
町長提出	専決処分の承認（税条例の一部を改正する条例） 地方税法等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
	専決処分の承認（国民健康保険税条例の一部を改正する条例） 低所得世帯の均等割の減額措置に係る軽減判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
	専決処分の承認（令和5年度一般会計補正予算（第1号）） 新型コロナウイルスワクチン接種の開始に向けた必要経費	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
	監査委員の選任について	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	議	同意

※わかりやすくするために、議案名を一部省略しています

町政を問う!

一般質問 10議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。

関根清隆 議員

- 1 自治体の予算編成に改革を
- 2 自治体のDX化に向けて考えること
- 3 空き家対策について

大賀広史 議員

- 1 教育行政
- 2 空き家対策
- 3 DX推進

森 利夫 議員

- 1 企業誘致について
- 2 地元対策事業と北部地域活性化事業について

小鷹房義 議員

- 1 ごみ対策について
- 2 町道路線の廃止について
- 3 亀井小学校統合の可能性について

野田小百合 議員

- 1 マイナンバーカードについて
- 2 不登校児童生徒への取り組みについて
- 3 誰でも楽しめるスポーツの普及について

根岸富一郎 議員

- 1 ちよっくま（上熊井農産物直売所）と農業振興について
- 2 みなし道路について
- 3 余ったお金の使い道について

中山明美 議員

- 1 誰一人取り残さない学びの場を
- 2 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進
- 3 带状疱疹ワクチン接種に補助を

石井計次 議員

- 1 河川改修について
- 2 水道行政について
- 3 チャットGPTについて

日坂和久 議員

- 1 町の交通政策について
- 2 安心・安全なまちづくりについて

清水秀幸 議員

- 1 県立鳩山高校の統合再編について
- 2 鳩山町立図書館の利用者サービスの拡充について
- 3 町営路線バス北部線について



関根 清隆 議員

事業ごとの予算決算でないと、政策の正確な評価が難しい。

政策予算改革提案

科目ごと⇒事業ごとの予算・決算を提案

必要経費が大、重要事業への捻出に苦慮

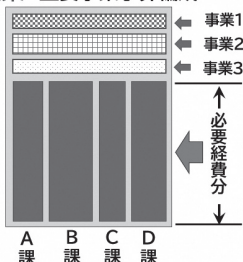
問 予算の審議と決算の認定は現行の科目単位の予算では政策の評価ができない。予算編成は必要経費分と重要事業を分け、事業ごとの予算編成を提案する。(文末図参照)

答 現在は町長の方針に従い、課ごとに予算を配分する枠配分方式で、その中で各課担当の事業の企画立案を行っている。議員提案は理論的には分かるが、現実には必要経費が大きく、事業へどう捻出するか苦慮しており、事業ごとの予算配分は難しい。

問 DX化を進める上でプロジェクトの進め方や、情報処理技術者のスキルを確保できるのか。

答 全国共通の基幹業務システムは令和7年度末に国と県で標準化・共通化が行われるので、それを待って取り組んでいく。県の共同事業はDXに詳しいスタッフを配置し進める。一方、町独自のDXは課を横断したDX推進会議とプロジェクトチームを設置したところ

提案の重要事業予算編成



現行 枠配分方式



で、必要に応じ県のデジタル改革課のサポートを得ながら、研修・事例研究を行い、具体化を進めていく。

問 空き家調査報告書ができたが、特定空き家認定はいつ行うのか。

答 空家等対策協議会を開催し、国や県が示しているガイドラインに基づいて、事例を参考にしながら、年内にも特定空家の判断をしていく。

問 移住推進のため、移住者向けリフォーム補助金50万円を提案する。

答 提案の補助金は、事例もあり、空家等対策協議会で必要性を含めた検討をしていきたい。

鳩山幼稚園

3年保育の実施は

来年度から実施する予定

町独自の少子化
対策を加速せよ



大賀 広史 議員

町立鳩山幼稚園

問 保育所と幼稚園（町外含む）の園児の割合は。

答 保育所61パーセント、幼稚園33パーセント。

問 障がいや様々な問題を抱えている幼児等のセーフティネットとして

公立幼稚園の意義は。

答 医療的ケアが必要な児童が、鳩山幼稚園で支援のもと通園していた。

問 今後の鳩山幼稚園について宮崎新教育長の考えを伺う。

答 来年度から3年保育を実施予定。また6月から幼稚園で給食の完全実施を開始したところだ。

亀井小学校

問 児童数の推移をみると、4年後には複式学級となる見込みだ。統廃合や小中一貫校の検討は。

答 複式学級になるからすぐに始めるとは考えていない。町の小学校全体を見て考えていく。

問 町全体で亀井小存続の取り組みを始めては。

答 課を横断した少子化対策プロジェクトチームで研究していく。

空き家対策

問 空き家等実態調査で判明した空き家の数は。

答 340件と前回調査より129件増加した。

問 調査して終わりにせず、空き家力ルテ等を作成し、毎年更新して最新の空き家情報の把握を。

答 データを活用して地域との情報交換も進めていきたい。

問 役場前の空き家は、明らかに景観を害している。特定空き家として町から指導をすべきでは。

答 当該物件については特定空き家の判定に着手した。助言・指導・勧告と手続きを進めていく。



完全給食を始めた
鳩山幼稚園

鳩山幼稚園

企業誘致

建ぺい率、容積率の変更完了はいつ

8月初旬に、手続きが終了予定

一刻も早く企業誘致
できるよう、一丸と
なっており、一丸と



森 利夫 議員

企業誘致

問 区域指定を受けた仮宿地域全体の土地が、建築形態規制変更の対象と考えていた。なぜ変更面積が2.2ヘクタールも減少したのか。

答 区域全体の7.5ヘクタールの建築形態規制の変更を進めていたが、用地買収が完了していない状況であり、早期進出を希望する事業者や地権者等の要望もあり、売買契約済みの土地5.3ヘクタールを対象としたため。

問 これにより、建ぺい率と容積率の変更はいつ完了するのか。

答 8月9日に開催される県の都市計画審議会において、問題がなければ8月中旬に手続きが完了する。

第495号線改修工事

問 道路改修工事では600角のU字溝が敷設されているが、鳩川流入の手前で500パイのヒューム管に接続されている。能勢ヶ沢沼の水路整備でも指摘したが、こ

れで問題ないのか。

答 既設の500パイのヒューム管の勾配が強いので、この接続で放流に問題ないと確認している。

問 本当に大丈夫か。

答 流量計算は通水断面積と流速から求める。沿線の方が降雨時の浸水を心配していたので、600ミリのU字溝を敷設した。

辻川広場護岸等整備

問 整備計画区域内で、第495号線の上流部分の左岸は整備しないのか。

答 計画をしていない。

問 今後改修できる可能性はあるのか。

答 地域と協議をし、今後の対応を検討する。



上流に向かい右岸だけが改修
工事の対象に含まれる辻川



小鷹 房義 議員

亀井小学校

児童数が減少しているが

性急に統廃合を進める考えはない

赤松・黒松は
亀井小の宝

ごみ対策について
問 町内道路に長い期間捨ててあるごみは、どのように処理されているのか伺う。
答 町内で不法投棄されているごみの処理は、鳩山町シルバー人材センターにごみ不法投棄監視清掃業務を委託している。
問 最近導入された移動式監視カメラの効果は。
答 行為者を特定し警察と連携した指導につながった。
町道路線の廃止について
問 町道を廃止して分断された田畑を一つにしようにする場合には、道路の払い下げが必要と考えるがいかがか。
答 廃止する道路は町道として機能しておらず、将来的にも必要のないと認められた道路であることが必要だ。
問 道路の払い下げに必要な手続きはどのようなか。
答 ①町への事前相談、②払い下げ申請書を提出、③公有財産利活用検討委員会での審議、④申請が妥当なものについては分



年代を重ねた赤松・黒松

筆、⑤表題登記の実施、⑥町と申請者による土地売買契約の締結、土地代金納入、⑦所有権移転登記の実施。この過程を経て申請者への払い下げが完了する。
亀井小学校統廃合の可能性について
問 教育委員会の考えは。
答 亀井小学校は今年で創立150年を迎えた県内でも有数の伝統校であり、地域に根ざした食農教育や農業体験を実施している。少人数を活かした特色ある教育を推進している。このことを重く受け止め、性急に統廃合を進めようという考えはない。

多様な学び

不登校は問題行動か

問題行動と判断してはいけない

心と身体を休める
時間も大切だね



野田小百合 議員

問 不登校は問題行動か。
答 文科省の通知に、問題行動と判断してはいけないと記されている。
問 学校教育の縛りから解放してあげることも重要ではないか。
答 登校するという結果のみを目標にするのではなく、社会的に自立することを目指す必要がある。子ども一人一人に合った指導を重ねていく。
問 子どもの権利条例について、教育長の考えは。
答 条例についての考え方は、本町の教育委員会も同じくするもの。今後も研究を進めていきたい。
マイナンバーカード
問 交付状況は。
答 4月末現在で9013枚。交付率は67・8%。
問 マイナ保険証の紐づけミスなど、トラブルについて町の見解は。
答 国保や後期高齢者医療保険では、町の住民データと突合しており、別人を紐づけることは、基本的に生じない。
問 マイナ保険証は、弱さを抱える人にとって、



卓上カーリング「カーレット」
こどものひろばで体験会

非常に心配なシステム。本町にとって、大きな問題になるのではないか。
答 5年後、窓口で多くの方が更新の手続をする高齢者や障害のある方など、外出が困難な方の対応は、重要な課題と認識している。今後も国などに、現場の声を伝え、問題解決につなげたい。
カーレット
問 「カーレット」に取り組まないか。
答 高齢者、障がい者、健康者を区分けせず、互いに尊重し合える社会の実現のため、多様な取り組みを検討していきたい。

根岸富一郎議員



農業振興には
ほど遠い！

ちよっくま

あんずはどれだけとれたか

町として把握していない

問 あんずはどれだけ取れて、どれだけ売れたか。儲けはいくらか。

答 あんず栽培は、「加工組合」が取り組み、町として販売や利益等、把握していない。

基本的に、好評と聞く。加工室を利用するジヤムも完売。令和5年度より増やして「特産品」にしたいとのこと。

問 「ちよっくま」にニュータウン地域の人に来てもらうために、回送バスなどを利用すればよいのでは。

答 「はとタク」などを利用して、多くの方に来てもらいたい。回送バスは、運行表通り時間などを守る必要がある。

問 みなし道路のみならずとは何か。

答 特定行政庁が指定した道路。この道路に接する土地で、建物を建築するとき、みなされる。

問 判例など考え、建築主事を雇わないか。

答 建築主事はいないが、雇う計画はない。

問 まちづくり推進課と

は何か。

答 良好な住環境の整備等による住みよいまちづくりなどだ。3つの組織使命に基づき各種事業を実施している。

問 学校給食は、一般会計から負担できるか。

答 一般会計で、令和4年度より公会計に。令和5年度から減免事業を実施。さらに交付金を活用し、2〜3学期は無料にした。

問 執行残等、余ったお金は保護者負担をなくすためにも、学校給食費の無料化へどうか。

答 決算剰余金は、経済状況の悪化による税収の減や災害など年度間の財源不足に備えるため財政調整基金に積立てる。



「ちよっくま」って
どう行けばいいの

中山 明美議員



誰一人取り残さない
学びの場を

教育

フリースクール等との連携は

多様な教育機会の確保は望ましい

フリースクール

問 フリースクール等民間施設との連携は。

答 令和元年に文部科学省より通知された不登校児童・生徒に対する多様な教育機会の確保として、より積極的な連携を図っていくことが望ましいとされている。

今後、一人一人の状況に応じて積極的に情報交換や連携に努めていく。

問 「民間施設における通所する児童・生徒の支援の在り方に係るガイドライン」の作成を進めていきたいということだが、何を大切に、大事にして進めていくのか。

答 民間施設に通所する児童・生徒の支援の中で、出欠席などをどのように判断するかということがスタートとなっていた。

どのような活動を行っているのか正確な情報の収集を図り、教育機会確保法が求める児童・生徒の学ぶ機会の確保につながっているか、そこを大事に、注視し民間施設との連携を図ってまいりたい。

ワクチン接種に補助を

問 带状疱疹ワクチンはどうなのがあるか。

答 生ワクチンと、不活化ワクチン2種類。生ワクチンは皮下注射で1回、不活化ワクチンは筋肉内注射で2回の接種を行う。接種費用は生ワクチンは1回約6000円から8000円、不活化ワクチンは1回約1万8000円から2万8000円。

問 助成はどのようか。

答 現在、県から市町村に対し、助成事業の実施に関する調査が行われている。

財政状況を考慮しながら前向きに検討してまいりたい。



発症する可能性を大幅に
低下させることが分かっ
ているが費用が高い



石井 計次 議員

町議会でも早期改修を
国県へ要望

災害対策

鳩川・越辺川河川改修の現状は

用地が一部取得できていない

問 越辺川合流点までの河川改修工事の現状を伺う。

答 全ての用地取得が完了できていない状況。

既に着手している左岸側の工事に続き右岸側の堤防工事を予定している。しかしながら事業用地の買収が完了していないため国・県・町は意見交換を行っている。

問 現段階の令和6年度7年度工事計画を伺う。

答 鳩川に架かる重郎橋撤去工事、右岸側護岸工などの工事となる。

なにぶん、用地買収が完了していないため取得に向けて務める。

問 用地買収など多くの課題があり完成年度が見えない。地域の方々の安全を担保するため議会も一丸となって取り組んでいく。昨年12月設立の連携促進協議会の構成を伺う。

答 以前から、越辺川・鳩川改修に関する要望をしていた。昨年の豪雨災害があり設立されたと理解している。

問 促進協議会の構成を

ンバーを伺う。

答 国の荒川上流河川事務所担当課長、埼玉県河川砂防担当課長、鳩山町担当課長となっている。

問 重郎橋上流の左岸については、用地買収は完了しているが、右岸の未買収区間を伺う。

答 提体の距離は19メートル、面積は約273㎡。

問 未買収区間がある現状を鑑み、内川と鳩川の合流域付近に庁舎内で監視できる定点カメラの設置を要望する。

答 被害の軽減からも積極的に設置に向けて進めていく。



昨年7月12日の大雨による堤防の崩落（鳩川・越辺川合流域）

新公共交通計画

新たに策定する計画が不認定の場合の影響は

デマンド運行の国補助や特別交付税がなくなる

地域公共交通計画

問 新たに地域公共交通計画を策定する必要性や目的は何か。

答 法律改正に伴い、既存の公共交通サービスを最大限活用するうえ、福祉関連移動サービス等の輸送資源を盛り込み、持続可能な地域旅客運送サービスを確保する。

問 新たに策定した交通計画が認定されない場合の、町への影響は。

答 デマンドタクシー運行の国庫補助金や、運行に係る町費の8割を補う特別交付税のカットだ。

問 町は、いくつかの交通計画を策定し、実施してきた。判明した課題について、解消に向けた取り組みを盛り込むのか。

答 特に重要なのは、一般公共交通と福祉的移動サービスを共存・連携させるための位置づけだ。

防災・災害対策

問 防災行政無線の「聞こえない」と「聞こえ」の相反する問題にいかに対応するのか。

答 このことは認識して

いる。近隣自治体では、要不要箇所を調査し、屋外スピーカーを間引いている。これは、戸別受信機の普及が理由だ。

問 戸別受信機の導入を提案するが、いかがか。

答 進めて行きたい。

問 体育館を避難所とする場合、温度調整設備の充実が必要と思うが。

答 最低限はある。防災担当として、更に充実した設備が望ましい。

問 教育施設の管理担当の見解は。

答 更なる充実を図りたい。

問 学校施設環境改善交付金を活用できないか。

答 温度調整設備の設置支援として、大規模改修の際に活用できる。



新たな公共交通計画の認定を受け、運行費用の確保を

清水 秀幸 議員



図書館は知の宝庫。学びを止めないで！

図書館の利用拡充

本の宅配サービスの早急な導入を

令和6年度中にサービス実施へ

問 鳩山高校の統合再編
鳩山高校廃校後の対策として、今後、鳩山町として行うことは、所有者である県当局と早急に協議を進め、土地建物の有効活用を図ることが大事と判断しており、町として今後の跡地の利活用方針について何かあるのか。

答 跡地の利活用方針は、今後、県策定の新校基本計画の中で示され、現在、具体的な利活用に関する町との協議は行われていない状況である。

図書館 返却ポスト増設

問 利用者の利便性向上により、図書利用を拡大するため、返却場所の「ブックポスト」を役場ロビー、今宿コミュニティセンター、ふれあいセンター等に増設していくことはできないか。

答 設置に要する費用及び資料の回収から返却処理を行うまでの時間を考慮した管理運営上の課題

や場所の確保などの課題を見定め、増設について検討していきたい。

図書館 本の宅配

問 障害者だけでなく、高齢者や妊産婦、育児や介護している人等、本を借りたくても図書館に行けない人たちのために、早急に、本の宅配サービスを導入することはできないか。

答 具体的な宅配サービスの実施方法等について検討を行うよう担当者に指示し、令和6年度中の宅配サービス試行的実施に向けて進めていく。



本で、みんなしあわせ。

議員有志による

議員政策研究会を発足しました



会の目的について

この度の議員改選を受けて、新たに議員政策研究会を発足しました。

研究会で、様々な研究をもとに、議会から多様な提案をしていけるよう、取り組みます。

互選の結果、大賀副議長が会長、関根議員が副会長となりました。

更なる議員の資質向上、議会からの発信力を高めていきます。

鳩山町議会
これまでの取り組み

平成27年度～(第17期)

「どうする? 鳩山町議会活性化特別協議会」を発足。

同年の無投票選挙を受けて、議会活性化の取り組みを研究。次回無投票にしないための協議の最初の議会報告会を開催。

平成30年3月議会で議員定数を13人から12人に削減する条例改正案が賛成多数により可決。

令和元年度～(第18期)
「議員有志勉強会」を発足。

議員の資質向上、また議員間の意見交換、情報共有を図る目的で設置。

令和2年3月議会で起債残高削減の決議を全会一致で可決。

令和3年3月議会から予算審査特別委員会、9月議会から決算審査特別委員会を設置し、より専門的に審査を開始。





そこが知りたい

特集

ぎ か い し ん ぽ ー と

令和4年7月大雨災害その後

①町道第2679号線災害復旧事業の概要

シーソー公園付近の町道に隣接する緑地法面が崩落。復旧に要する概算事業経費を5700万円と見込み、国の負担申請を行い、災害復旧事業として同年9月に認定を受けた（国庫負担率3分の1、町負担分の95%は交付税措置）。

設計は段切り工事として、完了後に盛土工で安定した法面を復旧させることとした。工事着工前に楓ヶ丘3丁目町内会に工事概要説明会を開催した。

工事着工後に自然水の発生を確認、地下配水管等を設置する変更計画を策定し、議会が繰越明許を承認し、変更契約の後工事が完了した。（工事完了 令和5年5月31日）



楓ヶ丘3丁目の緑地法面（工事完了）

②その他の復旧工事について

町内の損壊箇所は26箇所、復旧状況は12箇所が復旧済み、その他は現在本復旧施工中あるいは仮復旧（土嚢設置など）となっている。

昨年度、2度の補正予算で合計2億8950万円の支出を計上したが、国からの負担が受けられるのは上記の町道第2679号線災害復旧事業のみとのことで、町負担額は約2億5000万円となる見込み（交付税負担額は未確定）。復旧工事は今年度中に完了予定。



町道第2号線災害復旧工事（施工中）

企業誘致どうなった

今宿仮宿地区企業誘致の現状と課題

流通・工業系産業誘導エリアに位置づけている7.5haの土地のうち、一部地権者の同意が得られず、売買契約済みの5.3haの土地について、1社による企業誘致を進めることとし、誘致条件を改善するため、建ぺい率や容積率を拡大変更とし、県から承認されれば8月中旬に変更手続きが完了する。



既に文化財の試掘調査を完了しているが、本発掘については、誘致企業の費用で確認調査を行うこととなる。

本発掘調査の概算費用は約5億円。

議会の目線

企業誘致は町の活性化や税収向上につながります。町にはインセンティブ（税の免除や軽減）等の措置を含め、粘り強く誘致を進めていただきたいものです。

ご意見・ご感想 ありがとうございました

傍聴アンケートより

- ・町内3小学校の統合も検討すべきではないか。バス、中学校の空き教室を利用すれば、小中一貫校も検討できるのでは。
- ・人口減少・空き家対策、民間の力を利用したら良い。
- ・特定空き家は、認定にあと一年もかかるような答弁があった。管理不全の空き家は特定空き家にすべきである。
- ・現業の整備、職員の適材適所、仕事のシェア、業務の効率化（DXを含め）図るべき。

クイズ感想より

- ・昼夜かまわず路上駐車をしている人がいる。（鳩ヶ丘1丁目）駐車場の確保を町でやっていただきたい。工夫すれば利用できる場所があるのでは。



新企画

いま、それ、気になるHATOYAMA vol.1

町立鳩山幼稚園で給食が始まりました

町立鳩山幼稚園で6月から給食が完全実施となったということで、給食の様子取材してきました。岡部園長先生と坂元先生にお話を聞きます。

●経緯は

- ・給食の試食は令和2年3月まで、年長組が小学校に上がる前の3学期に1回実施していました。徐々に増し、昨年度は1月から週2回程度、今年度も月曜と金曜に実施してきました。
- ・今年度鳩山幼稚園の魅力アップ計画を策定する予定で、この6月から前倒しで完全実施が決まりました。
- ・保護者アンケートでも常に給食実施を希望する声が多かったため、教育委員会に要望はしてきました。

●どのような体制ですか

- ・11時40分頃、給食センターから給食が運ばれてきます。コンテナから食缶を取り出し、職員室で配膳準備。先生方で手分けして24人分の給食を取り分けます。
- ・給食トレーの上に主菜、副菜（汁物）、ご飯が揃ったら、にじ組、さくら組それぞれの教室に運びます。牛乳は子どもたちで配ります。12時過ぎにみんないただきます。

●園としての感想、反響はいかがですか

- ・ずっと要望していたことなので、園としても大変うれしいです。また、保護者からも好評です。幼稚園の魅力の一つにつながるのではないのでしょうか。
- ・お弁当だと夏場など保冷状態が様々なので不安がありました。給食は安全で栄養価も一定なので、安心して食べさせることができます。
- ・就学後に給食にすぐ順応できる点としても有効だと思えます。



わーい、きゅうしょくだー



いただきます!



次回定例会は9月5日から (予定)

■ 請願、陳情は8月28日17時までに提出してください。

- 市田美代様
- 市川栄子様
- おめでとうございます
- 160号の当選者お二人
- ★前号の答え
- ①□
- ②□

●正解者の中から抽選で、お二人に町の特産品を差し上げます。
(応募方法)
はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号」を記入してください。
(あて先)
〒350-0392
鳩山町大豆戸184-16
議会事務局クイズ係
(締切) 8月31日(木)

問題1 幼稚園の給食はいつから?
7月 5月
問題2 議員の定数は?
14人 13人 12人
問題3 議会へのご意見・ご感想をお聞かせください。

議会クイズ

- 第161号編集委員
- 委員長 大賀 広史
 - 委員 石井 計次
 - 委員 松浪 健一郎
 - 委員 小鷹 房義
 - 委員 中山 明美
 - 委員 清水 秀幸

第19期鳩山町議会がスタートしました。新しい議員も加わり、新型コロナの感染症法の位置づけも変わったことで、久しぶりに制約のないなかで新体制の議会を開催いたしました。前任期において進めてきた議会改革をさらに前へと進め、今後は「コロナ禍で開催できなかった町民の皆さまと意見交換会を開催し、よりよいまちづくりのための提案をしてまいります。議会だよりの充実をすすめ、一層の議会の見える化を図り、魅力ある鳩山町議会をお伝えできればと思います。若い人たちが議会に立候補してくれる、そんな議会を目指します。(大賀)

編集後記